

すざくら

（学校だより）



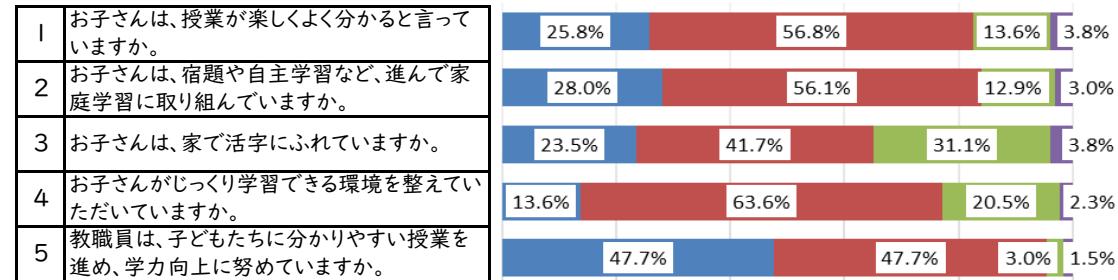
令和7年10月発行
京都市立朱雀第六小学校
校長 滝山 泰教
前期学校評価

よく
あてはまる
だいたい
あてはまる
あまりあ
てはまらない
あてはま
ない

7月にご協力いただきました「前期学校評価」の集計結果と考察を報告させていただきます。今回も児童・保護者の方々・教職員による評価を実施いたしました。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。この結果をもとに、学校の様々な取組を再確認し、よりよい学校づくりに生かして

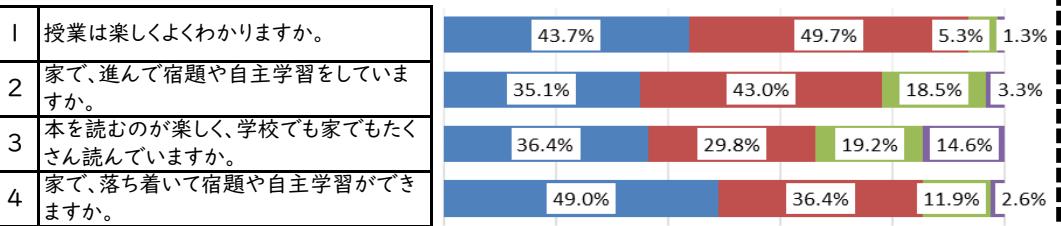
【保護者による回答】

◆ 確かな学力について

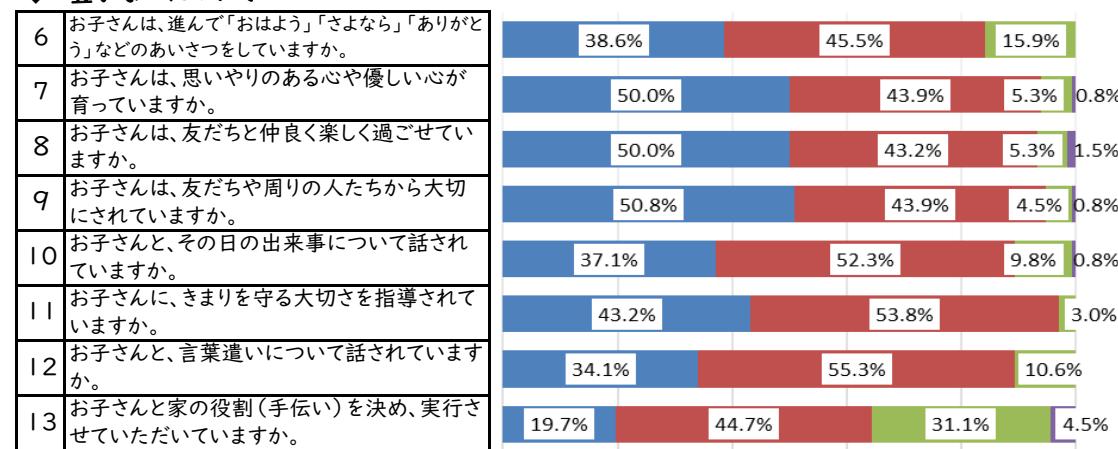


【児童による回答】

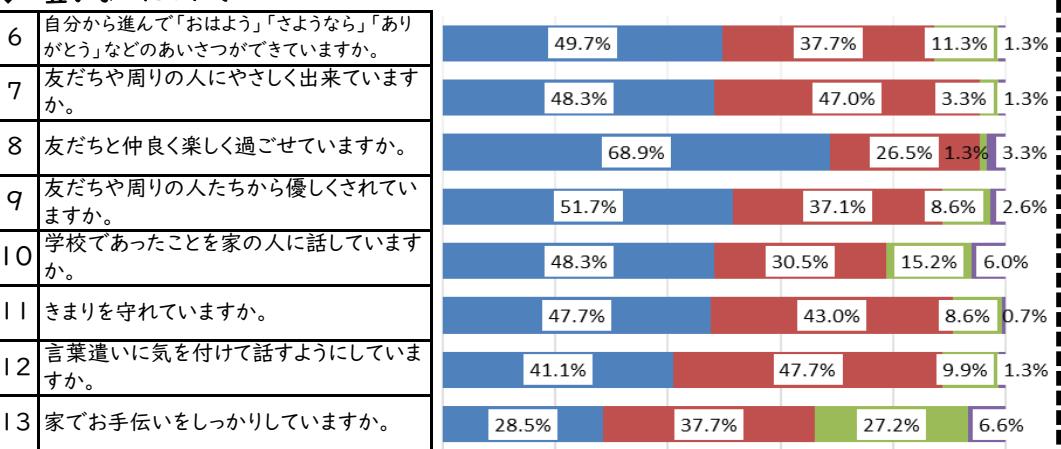
◆ 確かな学力について



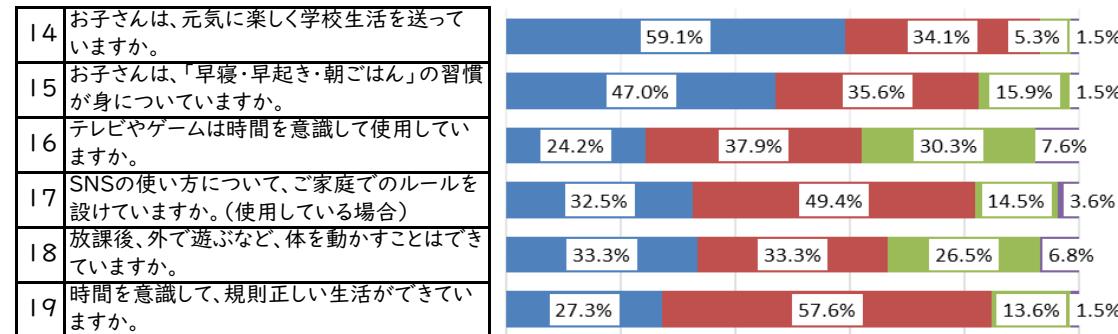
◆ 豊かな心について



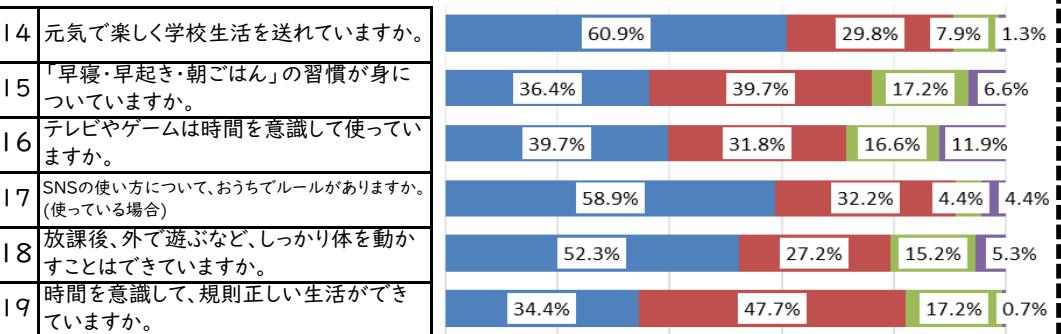
◆ 豊かな心について



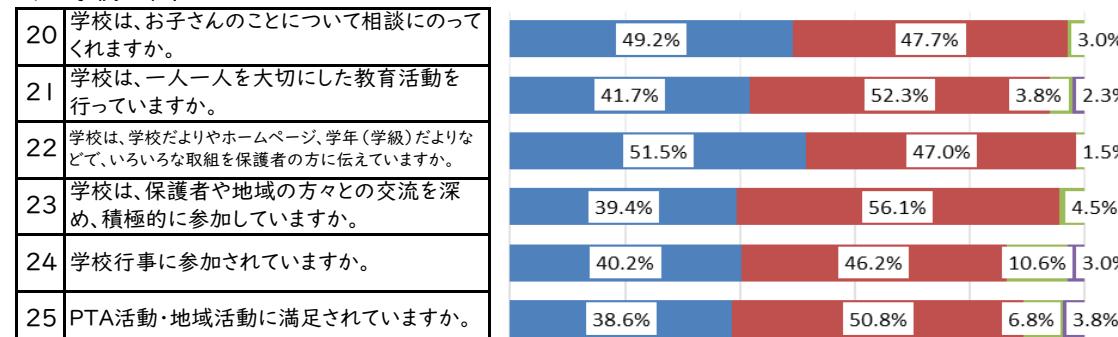
◆ 健やかな体について



◆ 健やかな体について



◆ 学校の取組について



◆ 学校の取組について



<確かな学力について>

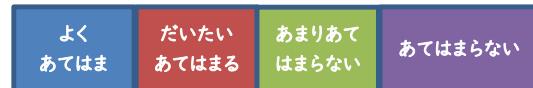
①⑤「授業」についての質問では、保護者・児童・教職員の3者とも「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた肯定的な回答が80～95%と一定の成果がでています。今年度、学校がこどもたちにつけたい資質・能力を【課題解決力】【コミュニケーション力】としています。各教科・領域で「楽しくよくわかる」、「主体的に学習する」授業を大切にしながら2つの資質・能力についても育んでいなければと思います。

③の「読書や活字にふれているか」に関する質問では、肯定的な回答が（保護者65%、児童66%、教職員83%）他の学力に関する質問と比較すると低い数値でした。読書には、知識や教養の獲得、語彙力や想像力・表現力の向上、ストレス軽減や心の安定など様々な効果があると言われています。学校では、朝読書以外に本に親しめる機会を増やすことや、教科指導の際に資料などで活用するなど、読書を通して様々なことに関心をもったり、学んだことを他の教科などに活用したりできる力を付けていきたいと考えます。ご家庭でもぜひ読書を楽しめる雰囲気、環境をつくっていただければと思います。

<豊かな心について>

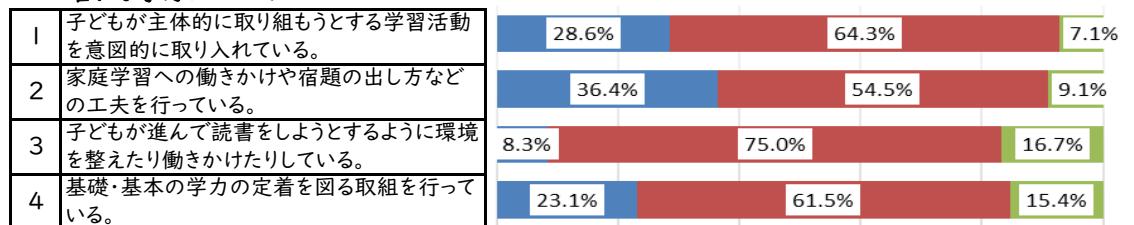
⑥の「あいさつ」については、昨年度の2回目の数値と比べると、3者ともに大きな変化はありませんでした。上記もしましたが、今年度、本校では「コミュニケーション力」を大切にしていきたいと思っています。あいさつは、この「コミュニケーション力」の土台となるものと考えています。子どもたちと一緒に今一度、あいさつをする気持ちよさやあいさつをもらううれしさについて話し合い、あいさつの大切さを考えていきたいと思います。

⑦の「周りの人に優しくされているか」の質問では、3者とも肯定的な回答（保護者94%、児童89%、教職員100%）が多く、一定の評価はできます。これは、大変うれしいことです。しかし、前回の数値と比較すると、保護者が4ポイント、児童が3ポイント減少しており、否定的な回答をした児童が11%、います。学校としてもこの結果を誠実に受け止め、否定的な回答をした児童には各担任が個別に聞き取り、一人ひとりを大切にする取り組みを進めていきたいと思います。

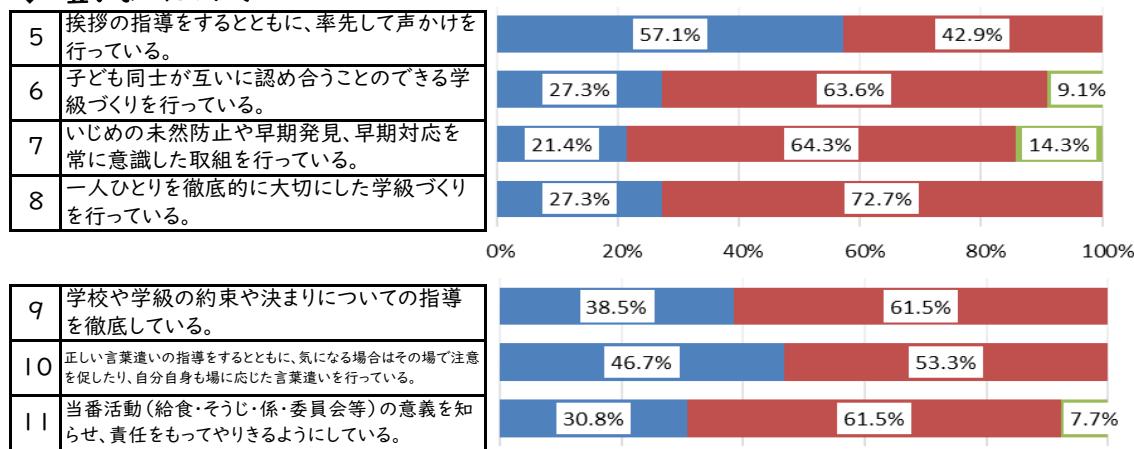


【教職員による回答】

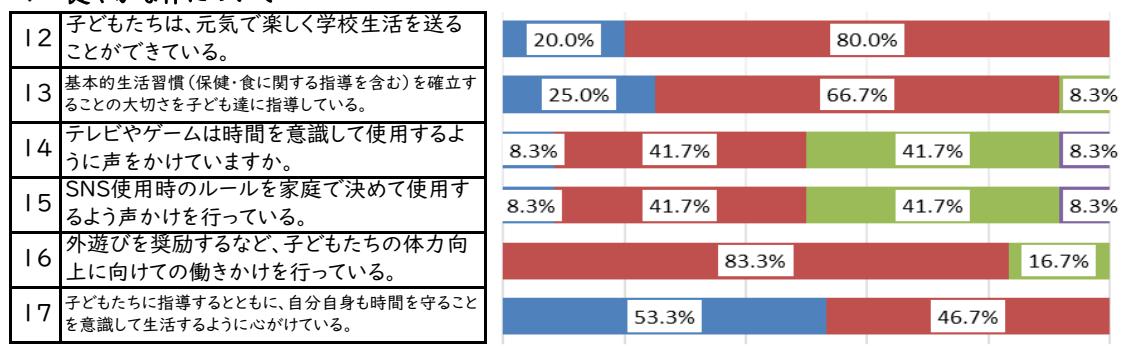
◆ 確かな学力について



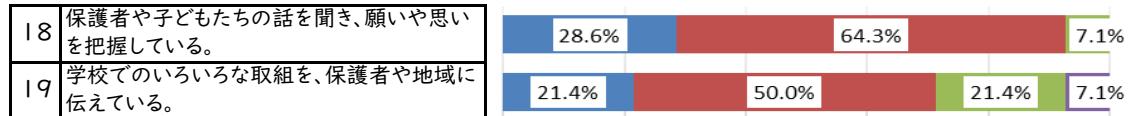
◆ 豊かな心について



◆ 健やかな体について



◆ 学校の取組について



<豊かな心について>

⑫「言葉づかい」に関しての質問についても、大きな変化はありませんでした。言葉づかいや話し方で人が受ける印象は大きく変わるとわれます。学校では、様々な考えをもたれたご家庭からお子たちを預かっております。言葉の受け取り方も子どもによって様々です。ある子にとっては気にならない言葉でも、ある子にとっては大きなショックになることもあります。色々な子どもが一緒に成長していく学校だからこそ、みんなが気持ちよいと感じる言葉づかいに引き続き気を付けていきたいです。

⑬「家庭でのお手伝い」については、家族の一員として働く意識をもつことは「誰かのために働く」という意識につながります。ぜひ、何か仕事をまかせて「ありがとう」と声をかけてあげてください。

<健やかな体について>

昨年度までは、⑯を「週に1度のノーテレビ・ゲームデーの設定」についての質問をしていましたが、今回から「テレビやゲームの使用時間の意識」についての質問に変更しています。それは、週に1日ずっとテレビやゲーム・スマホ・タブレットなどに触れずに生活するのは難しいと考えられるからです。しかし、制限なく使い続けると視力や脳に影響があるといわれます。それらに触れないようにするではなく、上手に付き合い有効に活用していくことができればと思います。

⑭「元気に楽しく学校生活を送っているか」の質問では、前回と同じように3者ともに肯定的な回答が90%を超えており、一定の評価ができます。ご家庭と地域の支えの上で、教職員が児童一人ひとりをしっかり見取り、関わってきたことの成果だと考えています。しかし、否定的な回答をしている児童が9%います。否定的な回答の理由は、個人的な理由や友だちとの関係のことなど様々です。すぐに解きほぐすことが難しそうな問題もあります。しかし、一人ひとりの話に真摯に耳を傾け、丁寧に対応していくことが、時間はかかりますが一番の方法だと思います。保護者の皆様にご心配をおかけすることもあると思いますが、お子たちの成長のためにご協力いただければと思います。

<学校の取組について>

⑯⑰「学校は相談にのってくれるか」「一人ひとりを大切にしているか」の質問では、3者ともに肯定的な回答が90%を超えており、一定の評価ができます。学校では、子どもたちの成長の過程で様々な事が起こります。学校、家庭が同じ方向でお子たちに寄り添い、育んでいきたいと考えます。心配な事があればいつでも気軽にご相談ください。

⑰「行事について」では、多くの保護者の方に学校行事に参加いただいていることがわかります。今後も様々な体験・関わりの中で子どもたちの健やかな教育にご協力をしていただければと思います。これからも、皆様のご参加をお待ちしています。

<自由記述欄について>

○「水泳帽の名前の書き方など」学校からの連絡やお願いで分かりにくい部分があったので改善していただけたと助かります。

→水泳帽の記名の仕方が分かりにくく、申し訳ないです。お便りなどに具体的に表記し、分かりやすくしたいと思います。他にも、分かりにくいこと

や不明な点がありましたら、すぐご連絡ください。

<学校運営協議会からのご意見>

⑯のあいさつについては、登下校の見守りや学校に来校した際の様子から、しっかりできている子が多くなっているのを実感している。しかし、挨拶をされて返していることが多いので、自分から先に進んで挨拶できるようになってほしい。

⑰「周りの人に優しくされているか」と⑭「元気に楽しく学校生活を送っているか」に関連しているが、アンケートの結果からもわかるように、学校生活に不安をもっている子どもがいるようだ。子どもの話を聞いていると、友だちとの関係で悩んでいる様子も見られるので、学校・家庭でも悩みに寄り添って支援していってほしい。